

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 北海道財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年2月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第50期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社ナガワ |
| 【英訳名】 | NAGAWA Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 高橋 修 |
| 【本店の所在の場所】 | 北海道伊達市長和町467番地2 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行って おりません。) |
| 【電話番号】 | 該当事項はありません。 |
| 【事務連絡者氏名】 | 該当事項はありません。 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地17号 |
| 【電話番号】 | 048(648)6111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役経理部長 高橋 学 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社ナガワ (埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地17号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第49期 第3四半期連結 累計期間 | 第50期 第3四半期連結 累計期間 | 第49期 |
|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(百万円) | 15,718 | 17,326 | 21,459 |
| 経常利益(百万円) | 2,315 | 2,503 | 3,103 |
| 四半期(当期)純利益(百万円) | 1,295 | 1,407 | 1,731 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 1,291 | 1,434 | 1,746 |
| 純資産額(百万円) | 28,898 | 29,690 | 29,137 |
| 総資産額(百万円) | 34,131 | 35,402 | 35,247 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 87.92 | 99.86 | 118.45 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 84.7 | 83.9 | 82.7 |

| 回次 | 第49期 第3四半期連結 会計期間 | 第50期 第3四半期連結 会計期間 |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日 | 自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 42.99 | 43.63 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策等により、円高修正・株高で景況感の改善が見られ緩やかに回復しつつありますが、欧州・新興国の景気動向及び消費税増税後の景気減速懸念等、依然として先行きは不透明な状況となっております。

ユニットハウス及び建設機械レンタル業界におきましては、国の公共工事予算の増加等を背景に公共投資が堅調に推移するほか、住宅投資も消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあって、増加してまいりました。また、民間設備投資については、非製造業を中心に持ち直しの傾向が見られ、建築工事については大手企業を中心に依然として増加傾向にあるものの、先行きについては増勢の鈍化が見受けられます。一方、震災復興・復興の本格発注に対し建設資源が集中する東北地方での労務・資材不足が都市部だけでなく地方にも波及しはじめており、建設費用の高騰や工期の開始遅延等が見られるとともに、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動等、今後の建設動向にとつての懸念材料も含んだ状況でありました。

このような情勢のなか、当社グループは、モジュール建築（プレハブ建築）・システム建築の技術・ノウハウを活用し工場、倉庫、店舗等の受注を拡大していく一方、ユニットハウスにおいては各工場の生産能力を強化し、拡大するレンタル需要に対応してまいりました。また、7月に発生した山口県萩市集中豪雨に伴う応急仮設住宅の建設や、東日本大震災の被災地域における復興工事向けの仮設現場事務所を供給するとともに、事務所再建をはじめとした震災復興と被災者の生活再建に尽力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は173億2千6百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は24億4百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益は25億3百万円（前年同期比8.1%増）、四半期純利益は14億7百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

（ユニットハウス事業）

ユニットハウス事業におきましては、一般建設市場の開拓については、大規模建築のモジュール建築（プレハブ建築）・システム建築から、従来の小規模建築に強みのあるユニットハウス建築まで扱えるオールラウンドな営業・製造体制をさらに強化してまいりました。

また、同業他社が依然として震災地域に一極集中するなか、当社は全国的にバランスの取れたレンタル資産配分と備品や付帯工事をセットにした提案営業を強化することにより、レンタル稼働がほぼ全域で前年を上回って推移いたしました。

一方、海外におきましては、ブラジルに続いてインドネシアの「PT.NAGAWA INDONESIA INTERNATIONAL」ならびにタイの「NAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.」の2社を新たに連結対象子会社とし、モジュール建築（プレハブ建築）及びユニットハウス建築の生産・受注営業に注力してまいりました。

以上の結果、レンタルにつきましては、受注増加による稼働棟数の増加や単価の持ち直しにより、全国的に堅調に推移いたしました。販売につきましては、中古ハウス販売が前述のとおり全国的にレンタル稼働が高水準で推移したため、販売用ハウスの確保が難しく前年を下回って推移いたしました。工場や大型倉庫等モジュール建築（プレハブ建築）・システム建築の完工が大幅に増加し、販売全体の売上高を押し上げました。

この結果、当事業のセグメント売上高は164億7千6百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、営業利益はレンタル稼働率の向上による粗利益率の改善や全社的なコストダウン効果に加え、レンタル単価の持ち直し等により、27億1千4百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

（建設機械レンタル事業）

建設機械レンタル事業におきましては、営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事請負金額にも回復の兆しが見られるなか、建設機械販売の増加や、地域に密着した営業活動の強化と貸与資産管理の緻密化による資産効率の向上や固定費の圧縮に努めるとともに、カーコンビニ倶楽部の自動車整備部門の設備投資を行なう等、サービスの拡充に注力してまいりました。

この結果、当事業のセグメント売上高は8億5千万円（前年同期比7.6%増）となりました。また、損益につきましては、同業他社との価格競争激化や昨年前倒しで行なった貸与機械の更新投資に伴う定率償却初年度負担増があり、運送費や修繕費の抜本的見直し等による経費削減が下期から大きく寄与したものの上期の損失を埋めるまでには至らず、営業損失は1億4百万円（前年同期の営業損失は6千2百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円減少し、156億5千8百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3億8千8百万円、信託受益権が2億5千9百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が10億2千3百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億6千5百万円増加し、197億4千4百万円となりました。その主な要因は、貸与資産が5億4千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べ1億5千5百万円増加し、354億2百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億8千2百万円減少し、55億1千万円となりました。その主な要因は、ファクタリング未払金が3億8千3百万円増加した一方、未払法人税等が4億5千3百万円、買掛金が2億9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1千5百万円減少し、2億1百万円になりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億9千7百万円減少し、57億1千2百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億5千3百万円増加し、296億9千万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が10億2千3百万円増加した一方、自己株式が5億2百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、83.9%となりました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 16,357,214 | 16,357,214 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 16,357,214 | 16,357,214 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増減額 (百万円) | 資本準備金残高 (百万円) |
|----------------------------|-------------------|--------------|-----------------|----------------|-------------------|------------------|
| 平成25年10月1日～ 平成25年12月31日 | - | 16,357,214 | - | 2,855 | - | 4,586 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 2,293,600 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 14,051,400 | 140,514 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 12,214 | - | - |
| 発行済株式総数 | 16,357,214 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 140,514 | - |

（注） 「完全議決権株式（自己株式等）」は、全て当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社ナガワ | 北海道伊達市長和町467番地2 | 2,293,600 | - | 2,293,600 | 14.02 |
| 計 | - | 2,293,600 | - | 2,293,600 | 14.02 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,121 | 5,097 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,941 | 7,330 |
| 商品及び製品 | 1,383 | 1,407 |
| 仕掛品 | 67 | 110 |
| 原材料及び貯蔵品 | 254 | 323 |
| 繰延税金資産 | 152 | 93 |
| 信託受益権 | 833 | 1,092 |
| 関係会社短期貸付金 | 78 | - |
| その他 | 246 | 214 |
| 貸倒引当金 | 10 | 11 |
| 流動資産合計 | 16,067 | 15,658 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸与資産(純額) | 10,083 | 10,624 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,458 | 1,413 |
| 土地 | 6,499 | 6,499 |
| 建設仮勘定 | 0 | 6 |
| その他(純額) | 160 | 205 |
| 有形固定資産合計 | 18,202 | 18,750 |
| 無形固定資産 | 99 | 104 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期預金 | 100 | 100 |
| 投資有価証券 | 246 | 249 |
| 敷金及び保証金 | 372 | 383 |
| 繰延税金資産 | 107 | 82 |
| その他 | 55 | 77 |
| 貸倒引当金 | 5 | 3 |
| 投資その他の資産合計 | 876 | 889 |
| 固定資産合計 | 19,179 | 19,744 |
| 資産合計 | 35,247 | 35,402 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,588 | 1,379 |
| ファクタリング未払金 | 1,750 | 2,133 |
| 未払法人税等 | 893 | 439 |
| 賞与引当金 | 199 | 128 |
| 役員賞与引当金 | 66 | 49 |
| 資産除去債務 | 1 | 1 |
| その他 | 1,392 | 1,377 |
| 流動負債合計 | 5,893 | 5,510 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 0 | 1 |
| 長期未払金 | 52 | 52 |
| 負ののれん | 15 | - |
| 資産除去債務 | 68 | 68 |
| その他 | 79 | 79 |
| 固定負債合計 | 217 | 201 |
| 負債合計 | 6,110 | 5,712 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,855 | 2,855 |
| 資本剰余金 | 4,586 | 4,586 |
| 利益剰余金 | 23,782 | 24,806 |
| 自己株式 | 2,110 | 2,613 |
| 株主資本合計 | 29,114 | 29,635 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25 | 51 |
| 為替換算調整勘定 | 3 | 4 |
| その他の包括利益累計額合計 | 22 | 55 |
| 少数株主持分 | 0 | - |
| 純資産合計 | 29,137 | 29,690 |
| 負債純資産合計 | 35,247 | 35,402 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 15,718 | 17,326 |
| 売上原価 | 8,815 | 10,072 |
| 売上総利益 | 6,902 | 7,254 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,677 | 4,849 |
| 営業利益 | 2,225 | 2,404 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 2 | 2 |
| 受取割引料 | 11 | 12 |
| 受取賃貸料 | 41 | 38 |
| 譲受関連収益 | 7 | 5 |
| 負ののれん償却額 | 15 | 15 |
| 為替差益 | - | 2 |
| 雑収入 | 20 | 19 |
| 営業外収益合計 | 103 | 101 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 11 | - |
| 雑損失 | 1 | 3 |
| 営業外費用合計 | 12 | 3 |
| 経常利益 | 2,315 | 2,503 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 0 |
| 関係会社株式売却益 | - | 9 |
| 特別利益合計 | 2 | 10 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 34 | 5 |
| 特別損失合計 | 34 | 5 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,282 | 2,508 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 837 | 1,036 |
| 法人税等調整額 | 149 | 71 |
| 法人税等合計 | 987 | 1,107 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,295 | 1,400 |
| 少数株主損失() | - | 7 |
| 四半期純利益 | 1,295 | 1,407 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,295 | 1,400 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | 25 |
| 為替換算調整勘定 | 2 | 8 |
| その他の包括利益合計 | 4 | 34 |
| 四半期包括利益 | 1,291 | 1,434 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,291 | 1,440 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | 5 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたPT.NAGAWA INDONESIA INTERNATIONAL及びNAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 266百万円 | 243百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|----------|--|--|
| 減価償却費 | 2,415百万円 | 2,638百万円 |
| 負ののれん償却額 | 15 | 15 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月19日 定時株主総会 | 普通株式 | 377 | 25 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月20日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月18日 定時株主総会 | 普通株式 | 354 | 25 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月19日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | ユニット ハウス事業 | 建設機械レ ンタル事業 | 合計 |
|-------------------|---------------|----------------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,927 | 790 | 15,718 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 14,928 | 791 | 15,720 |
| セグメント利益又は損失() | 2,496 | 62 | 2,433 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,433 |
| セグメント間取引消去 | - |
| 全社費用(注) | 208 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,225 |

(注)全社費用は、主に親会社の本社総務部、経理部及び企画室に係る経費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | ユニット ハウス事業 | 建設機械レ ンタル事業 | 合計 |
|-------------------|---------------|----------------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,476 | 850 | 17,326 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 7 | 8 |
| 計 | 16,476 | 857 | 17,334 |
| セグメント利益又は損失() | 2,714 | 104 | 2,610 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,610 |
| セグメント間取引消去 | - |
| 全社費用(注) | 205 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,404 |

(注)全社費用は、主に親会社の本社総務部、経理部及び企画室に係る経費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 87円92銭 | 99円86銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 1,295 | 1,407 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 1,295 | 1,407 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 14,738,560 | 14,097,931 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

株式会社ナガワ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 青木 俊人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清水 芳彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナガワの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナガワ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。